

smart
reader **HD**
OCR



スマートリーダーHD 取扱説明書

2021.4 Nippon Telesoft

目次

第一章	はじめに	P.1
	安全上のご注意	P.1
	本体と付属品	P.2
	各部の名称	P.3
	設置と起動	P.5
	文書の読み取り	P.6
第二章	スマートリーダーHD について	P.7
	OCR について	P.7
	単体モードとディスプレイモード	P.7
	ボタンの機能と操作について	P.8
	画像／文書の保存と呼び出し	P.9
第三章	本体設定	P.11
	はじめに	P.12
	ユーザー設定	P.13
	製品設定	P.17
	工場出荷時の設定	P.18
	ライブラリー	P.19
	ヘルプ	P.21
第四章	本機のお取り扱いについて	P.22
	スマートリーダーHD の電源と充電式バッテリー	P.22
	トラブルシューティング	P.23
	保証とアフターサービスについて	P.25
	本機の仕様とご相談窓口	P.26

第一章 はじめに

スマートリーダーHD をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方法を記載しています。必ずお守りください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

使用に関する注意

- ・ 電源を切り、アダプターを外してから動かしてください。
- ・ 背面のハンドルを持って動かしてください。アームを持つと破損の原因になります。
- ・ 安定した平らな場所に設置してください。
不安定な場所に設置しますと、落下や故障の原因になります。
- ・ 屋内でご使用ください。また、湿度の高い場所や極端な高温・低温の場所ではご使用できません。
- ・ 水気と火気のある場所、可燃性の材料または液体の近くでお使いにならないでください。
- ・ 直射日光やヒーター、電子レンジの近くに設置しないでください。
- ・ 落としたり、衝撃を与えないでください。故障や破損、ケガの原因になります。
- ・ 強い力を加えないでください。破損の恐れがあります。
- ・ 本体を濡らしたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。感電の原因となります。
- ・ 週に一度、付属のクロス、もしくは柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ・ 付属の電源以外のご使用にならないでください。
- ・ 配線を抜く際は、コード破損と事故防止のため、コードではなく必ずプラグを持って、壁側コンセントから抜いてください。
- ・ 配線を差す際は、差込口の向きをご確認ください。平らな部分を上にして差し込みます。誤った向きに強引に差し込むと破損の原因になります。

万一、異常が起きたら

1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. トラブルシューティング(P.23)を参照の上、適切に対処する
4. 解決しない場合、販売店にお問い合わせください

本体と付属品

スマートリーダーHD 本体



ストラップ



HDMI ケーブル



電源コード



AC アダプター

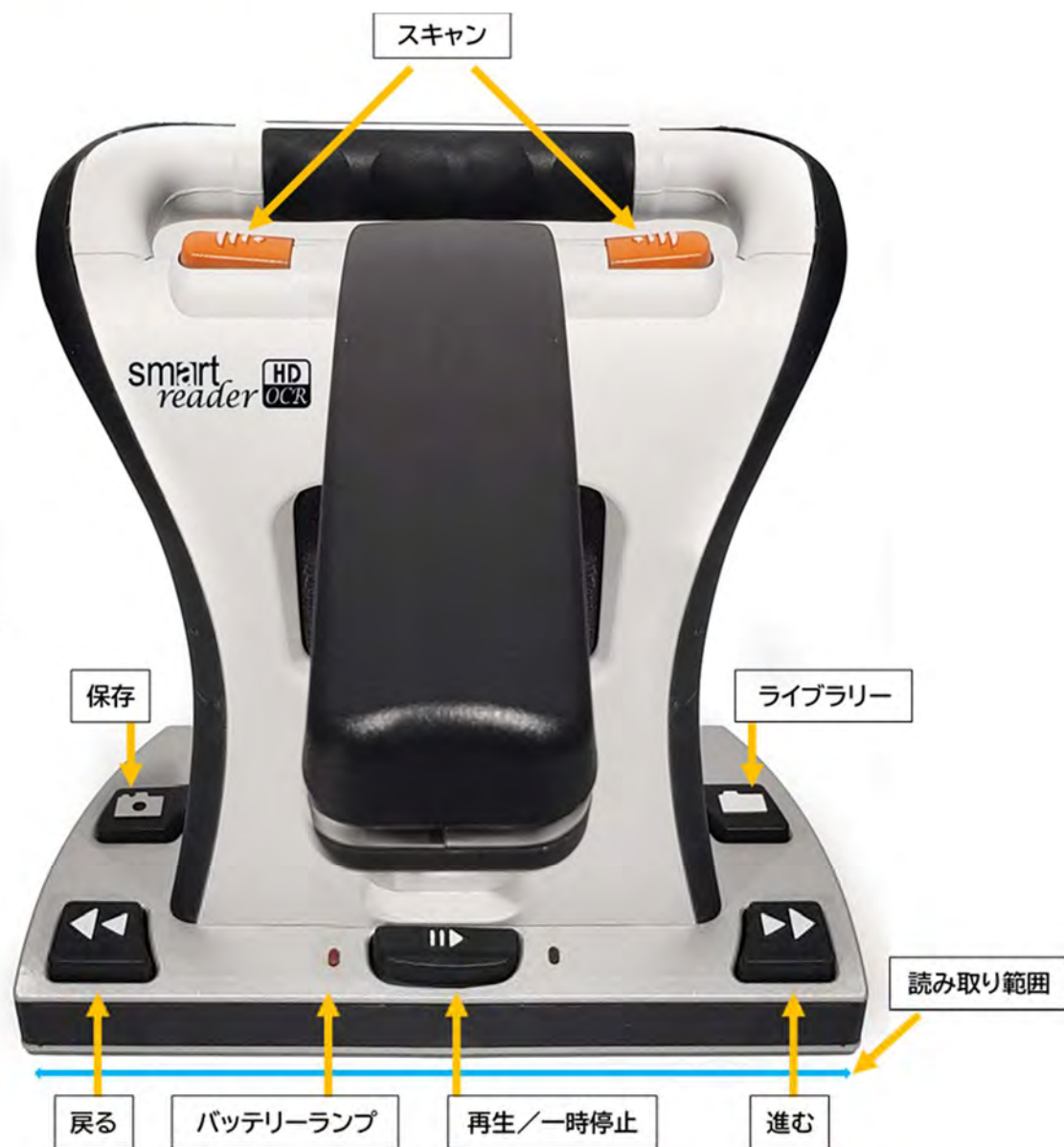


キャリングケース
*別売品



レンズクロス

各部の名称



各部の名称	機能	補足
スキャン	読み取りの開始	左右いずれかのボタンボタンす
スキャンを長押し	表形式の文書を読む	*現在、日本語未対応
再生／一時停止	再生と一時停止	
戻る	前の行に戻る	
進む	次の行に進む	
読み取り範囲	原稿をセット	⇔ 枠内に合わせる(A4 縦サイズが目安)
速度調整	速度を変える	一時停止中に回す
音量調整	音量を変える	
保存	スキャン前に長押し	画像として保存します
保存	スキャン後に長押し	文書として保存します
ライブラリー	長押し	保存したデータを呼び出します

カメラアーム	カメラと LED ライト、電源の機能が搭載されています
電源／カメラ	軽く押し込んで電源を ON / OFF
スピーカー	音声が出ます
イヤホン	周囲を気にせずに音声を楽しめます
バッテリー ○	コードレスで使えます (バッテリーランプ点灯)
バッテリー	電源をつないでお使いください 充電はこの状態で行ってください (充電中バッテリーランプ点滅)
リセットボタン	リセット時に使います (詳細は P.24)



スキャン



音量



再生／一時停止



速度



戻る



バッテリー
*背面



進む

設置と起動

1. 安定した平らな場所(テーブルや机)に本体をゆっくりと置いてください

- ・ 必ずハンドルを持ってください。
- ・ カメラアームを持つと破損の原因になります。



2. 電源コードを AC アダプターに接続して、コンセントに接続してください

- ・ 抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。
- ・ コード部分を持って抜き差しをすると断線の恐れがあります。



3. 本体背面の【 +19V DC 】に AC アダプターを確実に差し込んでください

- ・ 差し込みが緩いと起動しない場合があります。
- ・ 電源使用時は、バッテリースイッチを【 | 】側にしてください。
- ・ コードレスでの使用時は、バッテリースイッチを【 O 】側にしてください。
- ・ 本体をディスプレイに接続する場合は、HDMI ケーブルで接続してください。

4. カメラアームの先端を軽く押し込むとアームが広がり、電源が入ります

- ・ ビープ音が鳴り、起動します。起動までの時間は約 45 秒です。
- ・ 「ようこそ。スキャンできます」と聞こえたら使用可能です。
- ・ ディスプレイに接続している場合、起動後、ガイドフレームが表示されます。

* 本体には約 8 時間使用可能なバッテリーが内蔵されています

* ご使用の前に 4 時間以上充電してください



5. アームを元の位置に戻すと、電源がオフになります

文書の読み取り

1. 起動後、文書をカメラの下に置いてください



単体使用時 → 本体の横幅に合わせます



ディスプレイ接続時 →
ガイドフレーム内に配置します

* A4 縦サイズが読み取り範囲です

* 印字面がカメラに向いていれば、上下左右どの方向でも読み取れます

2. 【スキャン】を押すとカメラのシャッター音が聞こえ、OCR での読み取りを開始します

約 10～20 秒で読み取ります。処理中は音が鳴ります。

3. 読み上げを開始します

両脇にあるダイヤルで音量、速度を聞き取りやすいよう調整ができます。

ダイヤルは一段階ずつゆっくりと回してください。

ディスプレイ接続時は、カラーや倍率など、より多くの機能を調整できます。(詳しくは P.11)

* 速度調整は再生を一時停止してから行ってください

4. 【スキャン】を押して終了、次の文書がスキャンできる状態(スタンバイ)になります

* 本や雑誌などを見開いたとき、文字に歪みが出ないように平らに置いてください

* 新聞など、OCR での読み取りを不得意とする文書も一部あります

第二章 スマートリーダーHD について

OCR について

OCR(Optical Character Recognition:光学文字認識)とは画像の中から文字を見つけ出して、文字データに変換する技術です
スマートリーダーHD は、カメラの下に置かれている文書をスキャンして読み上げる製品です

単体モードとディスプレイモード

単体モード

- 音声での読み上げ装置として使用できます
- 起動してボタンを押すだけの簡単操作で気軽にお使いになれます
- バッテリーが内蔵されているため、コードレスでお使いになれます



ディスプレイモード

- 拡大読書器としてもお使いになれます
- お好みの設定でより便利にお使いになれます
- 本や原稿などの文書を本体にまとめて保存し、読み上げることができます



*HDMI 入力端子のあるディスプレイに接続できます

*ノートパソコンにある HDMI 端子は一般的に「出力端子」のため、ディスプレイとしては使えません

ボタンの機能と操作について

*以下の機能、及び、P.9-21 の機能はディスプレイ接続時にご利用になれます

本体設定メニュー ➡ 【保存】 + 【戻る】 詳しくは P.11

スタンバイ中に同時に押すと、ユーザー設定、ライブラリーなどの設定画面を開きます

文書の読み取りの開始と終了 ➡ 【スキャン】

「読み取りの開始」、「読み取りの終了」、「次の文書のスキャン」を実行します

前の行に戻る ➡ 【戻る】

読み上げる箇所を一行戻ります

次の行に進む ➡ 【進む】

読み上げる箇所を一行進めます

カラー ➡ 【進む】 + 【速度調整】

スキャン後に【進む】を押しながら【速度調整】を回すとカラーモードが切り替わります

拡大率 ➡ 【戻る】 + 【音量調整】

スキャン後に【戻る】を押しながら【音量調整】を回すと拡大率が切り替わります

明るさ ➡ 【戻る】 + 【音量調整】

スタンバイ中に【戻る】を押しながら【音量調整】を回すと明るさが切り替わります

LED ライト ➡ 【進む】 + 【ライブラリー】

スタンバイ中に【進む】と【ライブラリー】を同時に押すとLEDライトが点灯／消灯します

時刻を表示 ➡ 【保存】 + 【ライブラリー】

音声ガイダンス言語の変更 ➡ 【再生／一時停止】 + 【戻る】

スタンバイ中に同時に押すと、きり音声ガイダンスの言語を変更します(詳しくは P.17)

ライブラリーに保存したデータを呼び出す ➡ スタンバイ中に【ライブラリー】を長押し

ライブラリーの詳しい使い方は P.9 および P.10 をご覧ください

全ての設定を初期化 ➡ スタンバイ中に【保存】 + 【戻る】を同時に 5 秒以上長押し

画像／文書の保存と呼び出し

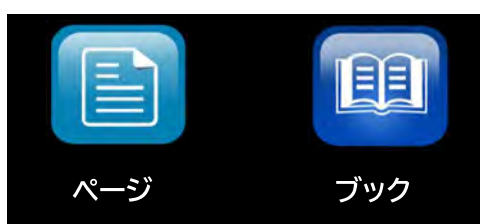
保存方法

スタンバイ中に【保存】を長押し ➔ 原稿がそのまま画像として、「画像」に保存されます

スキャン後に【保存】を長押し ➔ 原稿を OCR 処理した文書が、「文書」に保存されます

*文書の場合、「ページ」または「ブック」、どちらに保存をするかを選択します

【ライブラリー】 ➔ ひとつ前の画面に戻ります



ペー ジ

➔ 文書をひとつのページとして保存します

ブ ッ ク

➔ 文書をまとめたブックとして保存します

「新しい本」に追加

➔ 新規のブックを作成後、そのブック内に保存されます

「ブック」に追加

➔ 既存のブック内に保存されます

次のページを追加したい場合

➔ 「ページを追加しますか？」 ➔ 「はい」を選択してください

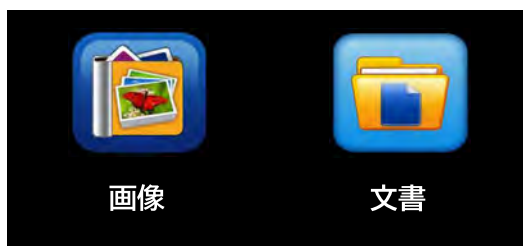
次のページを追加しない場合

➔ 「いいえ」を選択すると、最後に保存された文書に戻ります

*保存容量は最大 1,000 ページ/A4 サイズが目安です

保存した画像 / 文書 を呼び出す方法

スタンバイ中に【ライブラリー】を長押しすると、保存された「画像」「文書」を呼び出します



画像

保存された画像が表示されます

JPG 画像として保存されたデータですので音声の読み上げはしません

拡大率、カラー、明るさが変更できます(詳しくは P.8)

文書

保存された「ページ」「ブック」が表示されます

ページを見る・読む

【速度調整】で読みたいページを選択 ➡ 【再生／一時停止】で決定すると読み上げを開始します

ブックを見る・読む

【速度調整】で読みたいブックを選択 ➡ 【再生／一時停止】で決定すると読み上げを開始します

- ・ 次のページに進むには【進む】を長押ししてください
- ・ 前のページに戻るには【戻る】を長押ししてください
- ・ 【ライブラリー】で前の画面に戻ります

画像を削除

【速度調整】で消したい画像を選択 ➡ 【再生／一時停止】を長押し

文書内のページ／ブックを削除

【速度調整】で消したいページまたはブックを選択 ➡ 【再生／一時停止】を長押し

第三章 本体設定

*ディスプレイ接続時に設定ができます

本体の設定を自分の好みに合わせてカスタマイズすることができます

1. スタンバイ中に、【保存】と【戻る】を同時に押して本体設定メニュー画面に入ります
2. 【速度調整】を少しずつ回して、【再生／一時停止】で決定します



本 体 設 定 の 操 作 方 法

【再生／一時停止】 ➔ 設定のオン／オフの切替と決定

【速度調整】 ➔ メニューや画像、文書を選択

【ライブラリー】 ➔ 「ライブラリー」内で画像／文書を閲覧中、ひとつ前の画面に戻ります

【保存】 + 【戻る】 ➔ 本体設定に戻ります

はじめに



主な機能の概要をビデオで紹介します

【再生／一時停止】 ➡ 再生と一時停止

【戻る】 ➡ ビデオを 10 秒戻す

【進む】 ➡ ビデオを 10 秒進める

【保存】 + 【戻る】 ➡ ビデオを終了、本体設定に戻る

*2020.6 現在、英語版のビデオになっております

ユーザー設定



音 声

終了	終了
音声	すべての音声 <input type="checkbox"/>
ディスプレイ	音量 03
日付と時刻	サウンド
OCR テキスト認識	ボイス

すべての音声

- オン / 全てのボイスとサウンドが再生されます
- オフ / 全てのボイスとサウンドが消音されます

音量

【音量調整】を前後に回して調整

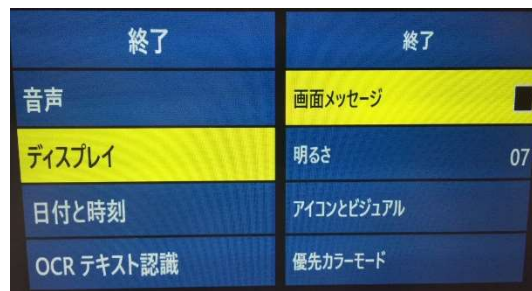
サウンド

- すべてのサウンド - 全てのサウンドをオン/オフ
- ボタンのクリック音- 項目を選択するときのクリック音をオン/オフ
- チャイム音- 処理中のチャイム音と起動時のビープ音をオン/オフ

ボイス

- すべてのボイス - 全ての音声ガイダンスをオン/オフ
- メニューのボイス - 本体設定内全ての音声ガイダンスをオン/オフ
- メッセージのボイス - ディスプレイに表示されるメッセージの音声ガイダンスをオン/オフ
- アラートと警告 - 「ファイルが見つかりません」や「保存された文書」などの特定のシステム状態についてユーザーに警告するメッセージ、「文書を枠の内側に揃えてください」などのメッセージの音声ガイダンスを、オン/オフ
- ボイスの性別 - 音声ガイダンスを男性/女性の声から選択できます
- ボイス速度 - 音声ガイダンスの再生速度を選択できます

ディスプレイ



画面メッセージ

通知と警告メッセージのオン／オフができます

明るさ

ディスプレイに表示される明るさレベルを【速度調整】で選択できます

アイコンとビジュアル

移動アイコンと LED ライトアイコンのオン／オフ

優先カラーモード

好みや見えやすさに合わせて設定できます

31 色の中から 6 色を優先カラーとして選択できます

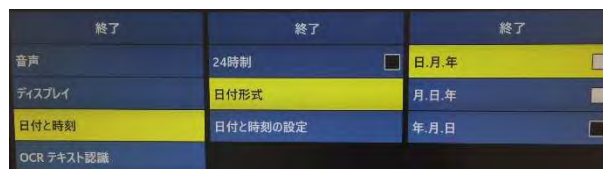
日付と時刻

24 時制

時刻を 24 時間表示(例:午後 7 時を 19 時)または午前午後の 12 時間表示から選択できます

日付形式

3 つのモードから選択できます



日付と時刻の設定

1. 【速度調整】を回して日時を変更、【再生／一時停止】で決定します
2. 【進む】を押して時計の設定を終了し、メニューに戻ります

*【保存】 + 【ライブラリー】を同時に押すと、いつでも時計を呼び出すことができます

OCRテキスト認識

*単体モードでは、「OCR サウンド」と「OCR の属性」のみお使いになれます

終了	終了	終了
音声	ガイドフレーム	黄
ディスプレイ	ゾーンの種類	赤
日付と時刻	ゾーン枠の色	緑
OCR テキスト認識	読書ハイライト	青
	OCRサウンド	
	OCRの属性	
	OCRモード	

ガイドフレーム

- スキャンするときの読み取り範囲枠の色を選択できます

ゾーンの種類

- 全ページ画像モード時、スキャンされた文書は「ゾーン」と呼ばれるブロックに自動分割されます
- ゾーンは、ボックスまたは番号として表示するように変更できます

ゾーン枠の色

- ゾーンの枠の色を選択できます

読書ハイライト

- 読み上げられている単語をハイライト表示する際の色を選択できます

OCR サウンド

- OCR 処理中に再生される音を選択できます

OCR の属性

- OCR での処理を「処理時間の短縮」と「OCR 精度の向上」いずれかに設定します

高性能 - 比較的迅速に処理します。

読み取る原稿がそれほど複雑ではない場合、この方法が適しています

高精度 - より正確な読み取り結果を表示するように設計されています

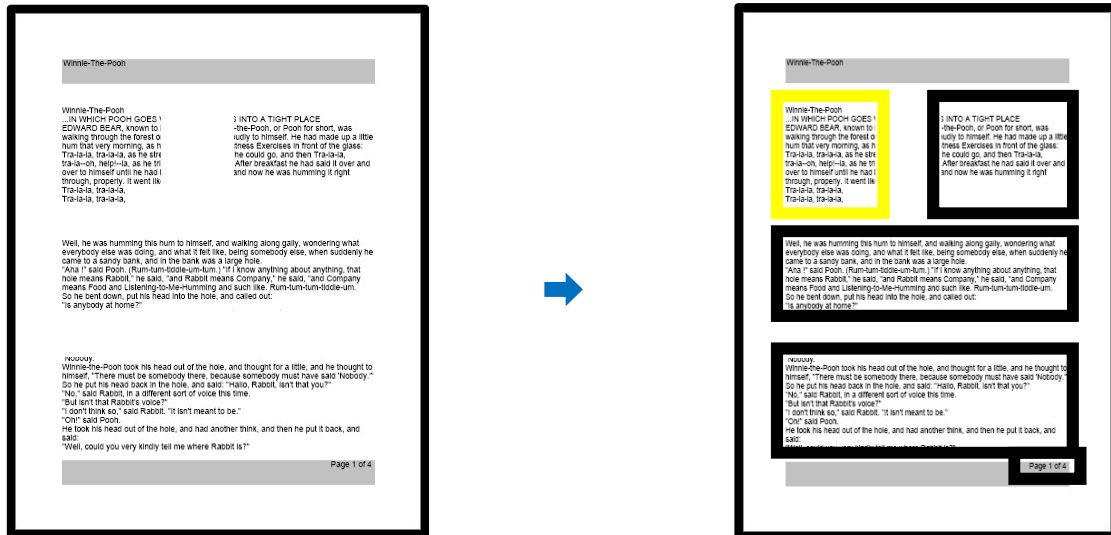
「高性能」モードと比較した場合処理に時間がかかります

フォントが小さい場合や複雑な文書进行处理する場合、この方法が適しています

全ページ画像モード

このモードでは、スキャンした文書が画像で表示されて、「ゾーン」という枠に整理されます。ゾーンで区切ることによって、読みたい箇所をご自身で決めることができます。

【戻る】または【進む】で選択、【再生／一時停止】で決定すると、指定されたゾーンを読み上げます。



全ページテキストモード（デフォルト）

このモードでは、スキャンした文書をテキストで表示します。

自動的に読み上げが始まるので、文書全体を一気に読み上げる際に便利です。

このスマートリーダーは高精度カメラの下に本や資料を置き、スキャンを押すだけで、読み取りを開始し、綺麗な日本語でそ

一行テキストモード

このモードでは、スキャンした文書をテキストとして一行ずつ画面の中央に表示します。

製品設定



言語

音声ガイダンスと本体設定内の言語を設定します

ディスプレイに接続していないときは、スタンバイ中に【再生／一時停止】 + 【戻る】を同時に押すことにより、言語の変更ができます（日本語に設定する場合、“Japanese”と音声ガイダンスするところまで、ボタンを押して変更してください）

*言語をひとつ変更する毎に1分ほど時間を空けてください。言語変更はシステムに負荷がかかるため、ゆっくり行う必要があります

自動言語

オン / 多言語の資料を読む場合に有効です。文書内にある言語に合わせて設定してください

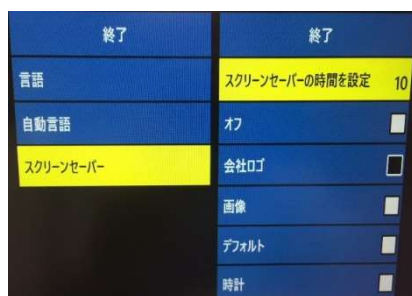
オフ / 一つの言語で使用する場合、オフにしてください（「言語」の設定に準じます）

*日本語だけの文書を読み取る際には、「言語」を「日本語」、「自動言語」をオフにしてください（出荷時に設定しています）

*英語だけの文書を読み取る際には、「言語」を「English-UK」、「自動言語」をオフにしてください

*日本語と英語が混在する文書の場合には、「English-UK」と「日本語」両方にチェックを入れてください

スクリーンセーバー



スクリーンセーバーの時間を設定

スクリーンセーバーモードに入るまでの時間を5、10、20、30分から選択できます

オフ / 会社(enhanced vision)ロゴ / 画像 / デフォルト / 時計

工場出荷時の設定



製品情報

ファームウェアバージョン、言語グループ、シリアルナンバー、バッテリー残量を表示します

工場出荷時の設定にリセット



本体設定を「工場出荷時」の状態に戻します

*保存した画像、文書、ページ、ブックは削除されません

ライブラリー



画像を見る

保存された画像を確認できます

文書を見る

保存された文書を確認できます

- 画像／文書の保存方法は P.9 をご覧ください

*スタンバイ中に【ライブラリー】を長押しでも保存された「画像」「文書」を見ることができます

*【ライブラリー】を押すとひとつ前の画面に戻ります

ファイルのインポートとエクスポート

USB フラッシュドライブを使うと、ファイル(画像／文書)のインポートとエクスポートができます。
日本語版で利用できる拡張子(ファイル形式)は、.TXT .JPG のみです。


ファイルのインポート

1. インポートしたいデータの拡張子を確認の上、USB フラッシュドライブに保存してください
2. USB フラッシュドライブを本体背面にある USB ポートに接続してください
3. 「ファイルのインポート」でデータの拡張子を選択し、「インポート」で決定

*日本語版では、.TXT .JPG のみ利用できます

4. 決定すると、USB フラッシュドライブ内のデータが表示されます
5. 【速度調整】でインポートしたいデータを選択して、【再生/一時停止】で決定します
.JPG データ ⇒ 【画像を見る】に保存されます
.TXT データ ⇒ OCR化されたテキストデータが読み上げられます
【保存】を約2秒長押しすると【文書を見る】内の【ページ】に保存されます

*【再生/一時停止】を長押しすると USB フラッシュドライブ内のデータが削除されますのでご注意ください

7.  このアイコンが表示され、チャイム音が鳴ると保存完了です

ファイルのエクスポート

1. USB フラッシュドライブを本体背面にある USB ポートに接続してください
2. 「ファイルのエクスポート」でデータの拡張子を選択し、「エクスポート」で決定
.JPG を選択 ⇒ 画像データとしてエクスポートされます
.TXT を選択 ⇒ テキストデータとしてエクスポートされます
3. 【画像】または【文書】からエクスポートしたいデータを選択して【保存】を約2秒長押しします
4. 保存されると「エクスポート完了」と音声ガイダンスが流れます

すべての画像をエクスポート

本体に保存されている**全ての画像**を USB フラッシュドライブに保存します

すべての文書をエクスポート

本体に保存されている**全ての文書**を USB フラッシュドライブに保存します

すべての画像／文書の削除

【再生/一時停止】で決定すると、本体に保存されている全ての「画像」と「文書」が削除されます

ひとつの画像／文書を削除したい場合 ➡ P.10 をご覧ください



*削除したデータは元に戻りませんので実行の際にはご注意ください

ヘルプ

全てのショートカットとボタンが一覧できる、英語版クイックスタートガイドを表示します

【保存】 + 【戻る】を同時に押すと終了します



第四章 本機のお取り扱いについて

スマートリーダーHDの電源と充電式バッテリー

本体のシャットダウン

1. アームの先端中央に指を置きます
2. ゆっくりとアームを下げて、本体中央にあるロックに軽く押し込みます
3. 「電源オフ」の音声ガイダンス後、シャットダウンが開始され、終了します



充電式バッテリーについて

スマートリーダー HDには充電式バッテリーが内蔵されています。
使用していないときは、本体を電源に接続してバッテリーを充電することをお勧めします。
バッテリーを利用すると電源を気にせず、コードレスでご使用になれます。

- ・ 充電の際は、背面にあるバッテリースイッチをオフ/【 | 】側に設定してください
- ・ オン/【 ○ 】側にすると充電できません
- ・ オレンジ色のランプは、充電中には点滅、充電完了後には点灯します
- ・ バッテリーを利用しているときはオレンジ色のランプが点灯します
- ・ 電源を接続、バッテリースイッチがオフになっているときは青色のランプが点灯します
- ・ 最初のご使用の前にフル充電してください
- ・ フル充電するためには、4時間以上電源に接続してください
- ・ フル充電されますと約8時間ご使用になれます

製品情報画面でバッテリー残量を確認する

バッテリー残量はディスプレイ接続時に「本体設定」で確認できます。

1. 【戻る】 + 【保存】で「本体設定」に入り、【工場出荷時の設定】を選択します
2. 【製品情報】を選択すると確認ができます

トラブルシューティング

スマートリーダー HD の電源が入らない

- カメラアームの先端を押して立ち上げると、ビープ音が聞こえましたか。
- 「ようこそ、スキャンできます」と聞こえましたか。(起動には約 45 秒必要です)
- 本体の電源とコンセント、AC アダプターとコードがしっかりと確実に接続されていますか。
- コードが背面のポート(19V DC)に正しい方向で確実に差し込まれていますか。
- ご自宅のブレーカーが切れていませんか。
- コードレスでのご使用の場合、バッテリースイッチを【 O 】側にしてください。

バッテリーが使えない

- 本体背面のバッテリースイッチが【 O 】側になっていますか。
- 充電が十分にされていますか。バッテリー残量は製品情報(P.18)より確認ができます。

▲バッテリーは消耗品です

使用状態や環境などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときはバッテリーの交換時期です。

交換につきましては、当社までお問い合わせください。

画像が劣化する

- 静電気、またはノイズにさらされると、画像が一時的に劣化することがあります。
再起動をしてください。(設定方法→P.24)

画像の焦点が合っていない / ぼやける

- 付属のレンズクリーニングクロスを使用して、アーム内側にあるカメラをやさしく拭いてください。
(水、洗剤の使用はしないでください)
- 読み取る文書が平らな場所に安定して置いてあることを確認してください。
カメラが焦点を合わせるまでに少し時間がかかることがあります。

ディスプレイにうつらない

- 本体とディスプレイの電源は入っていますか。HDMI ケーブルで確実に接続されていますか。
- お使いのディスプレイの **HDMI 入力端子** に接続されていますか

*ノートパソコンにある HDMI 端子は一般的に「出力端子」のため、ディスプレイとしては使えません

読み取りの精度が悪い

- LED ライトを点灯して明るさを一定にしてください。照明や太陽光、影などの影響で読み取る文書に明るさのムラがあったり、文字と背景の明暗がなく区別がつかない状態になると OCR での読み取り精度が低下します。
- 自動言語の設定を正しく行ってください。(設定方法▶P.17)
- 読み取り範囲内に、文字に歪みが出ないように文書を平らに置いてください。
- 読み取りにくい場合は、OCR 属性を高精度に設定してください。(設定方法▶P.15)
高精度モードは、OCR 処理のエラーを最小限に抑える設定のため、改善が期待できます。
- 小さな文書を読み取る際は背景に白い紙を置いてください。
- 印字面がカメラに向いていれば、上下左右、どの方向に置いても読み取りが可能です。
読み取りにくい場合は、配置を変えてから、改めて読み取りを行ってください。
雑誌や本など、見開きの文書はできるだけ平らにしてから読み取ってください。

フリーズした場合 / システムの再起動

- これらの動作でも改善がみられない、動作が固まり操作ができなくなった、誤作動を起こした、
'SmartReaderHD has stopped working' がディスプレイ上に出た場合、
再起動してください。
1. カメラアームを閉じ、ビープ音が止まるまで待つと、電源がオフになります
 2. 電源プラグをコンセントから抜く
 3. 1 分程度待ってから電源プラグとコンセントを接続して、カメラアームを開いて起動する

●この方法で再起動できない場合、以下のリセット方法をお試してください。

1. カメラアームを閉じる
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. 爪楊枝などの先の尖ったもので、リセットボタン(本体背面左側にある小さい穴)を 3 秒以上押す
4. 完全に電源が切れるまで、3 分程度お待ちください
5. 電源プラグとコンセントを接続して、カメラアームを開いて起動する

* ボタンを連打、ダイヤルを素早く回すなどの動作により、
システムに負担がかかりフリーズすることがあります。

* ご使用の際は、ひとつひとつの動作をゆっくりと行ってください。

ソフトウェアのアップデート

快適にお使いいただけるよう、定期的にソフトウェアのアップデートを行っています。
最新の状態に更新するためには、以下のページからファームウェアをダウンロードしてください。

<https://www.nippontelesoft.com/download.html>

有償にて、当社でのアップデートも可能です。

保証とアフターサービスについて

保 証 に つ い て

- ・ 本端末をお買い上げの際に保証書が付いています。必ずお受け取りください。
- ・ 記載内容および『販売店名・お買い上げ日』をお確かめの上、大切に保管してください。
- ・ 必要事項が記載されていない場合、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
- ・ 保証期間は、お買い上げ日より 2 年間です。
- ・ 保証期間内は当社規定に基づき無償修理を行います
- ・ 付属品の保証期間はご購入日より 6 ヶ月間です
- ・ ただし、以下の原因による故障・破損は保証外になります
 - 初期不良、自然故障以外の場合
 - 保証期間経過後(25 ヶ月以降)
 - 通常の用途以外でのご使用
 - お取り扱い方法と設置や接続を誤った場合
 - 改造、分解、指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合
 - 落下、衝撃、液体や火気による場合
 - 指定の付属品以外の機器を使って操作した場合
 - 火災、地震、水害、その他の天災地変、公害、異常電圧
 - 日本国外でのご使用
- ・ 保証期間が終了後は有償修理いたします。

ア フ タ ー サ ー ビ ス に つ い て

- ・ 調子が悪い場合、修理を依頼される前にトラブルシューティング(P.23)をご覧ください。
- ・ 改善されない場合はお買い上げいただいた販売店へお問い合わせください。
- ・ お問い合わせの結果、修理が必要な場合、「日本テレソフト 熊本支社」へ発送してください。
なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合や修理不可の場合がございます。
- ・ 本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後 4 年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の製造終了などにより修理ができない場合もございます。あらかじめご了承ください。
- ・ 保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合があります。
販売店へお問い合わせください。

本機の仕様とご相談窓口

サイズ	横：23cm 縦：24.13cm 奥行：11.43cm <small>*アームを閉じた状態</small>
重量	1.8kg
電源	入力電圧：100～240V 出力電圧：19V 周波数：50 または 60 Hz
外部インターフェース	USB / HDMI
カメラ	高精細 13MP センサー
保存容量	A4 サイズ / 最大 1,000 ページ
動作温度範囲	0-40℃ / 32-104°F
保証期間	2 年間

■ お客様ご相談窓口

株式会社 日本テレソフト 福祉機器事業部

平日 10:00 ～ 17:00

TEL: 03 - 6913 - 5641

E-mail: ts-info@telesoft.co.jp

〒167-0034 東京都杉並区桃井 2-1-3 吉田ビル3F

URL: <http://www.nippontelesoft.com>

■ 修理品送り先

株式会社 日本テレソフト 熊本支社

TEL: 096 - 282 - 8838

〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南 6 丁目 7-63

ご記入いただけるとお問い合わせの際に便利です

お買い上げ年月日	
販売店名/お電話番号	
シリアルナンバー	

*トラブルシューティングをご覧になっても改善されない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

*お問い合わせの際には必ず保証書をご用意ください。

*購入時の梱包箱は、修理が必要になったときのために保管ください。

*本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

*ホームページでは最新の情報や Q&A をご案内しております。

2021.4 Nippon Telesoft